

追加型投信／海外／株式

JPM・ BRICS5・ファンド

(愛称：ブリックス・ファイブ)

第 18 期 交付運用報告書

(決算日：2024年1月22日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPM・BRICS5・ファンド」は、去る1月22日に第18期の決算を行いました。

当ファンドはBRICS5カ国（ブラジル、ロシア、インド、中国および南アフリカ）のいずれかで上場または取引されている株式の中から、収益性、成長性等を総合的に勘案して選択した銘柄を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指すことを目的としております。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書（全体版）の閲覧方法：上記URLにアクセス ⇒ 画面右上の検索マーク🔍を選択 ⇒ 当ファンドの名称を入力して検索 ⇒ 運用報告書（全体版）を選択

第18期末（2024年1月22日）	
基準価額	28,520円
純資産総額	19,016百万円
第18期 (作成対象期間：2023年1月21日～2024年1月22日)	
騰落率	10.3%
分配金（税込）合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIM・BRICS5・マザーファンド（適格機関投資家専用）」は「BRICS5・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

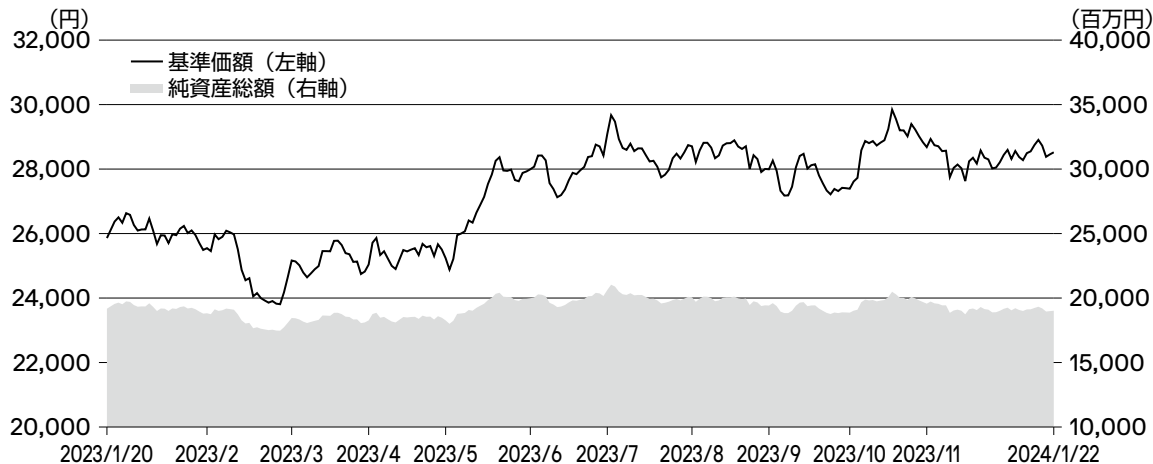
〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号
東京ビルディング

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

(2023年1月21日～2024年1月22日)



期首：25,860円

期末：28,520円 (既払分配金 (税込) : 0円)

騰落率： 10.3%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です (以下同じ)。

(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません (以下同じ)。詳細は「お知らせ」をご参照ください。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、BRICS株式市場が軟調に推移したことなどはマイナス要因となったものの、全ての投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

◎1万口当たりの費用明細

(2023年1月21日～2024年1月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	570 (270)	2.101 (0.995)	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目 論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価 額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(270)	(0.995)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、 交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の 情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(30)	(0.111)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの 指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれ らに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7 (7)	0.024 (0.024)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価 として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	10 (10)	0.039 (0.039)	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{〔期中の有価証券取引税〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	173 (45)	0.638 (0.167)	(d)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託 先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(5)	(0.017)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法 人に支払われる費用
(そ の 他)	(123)	(0.454)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	760	2.802	
期中の平均基準価額は、27,141円です。			

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

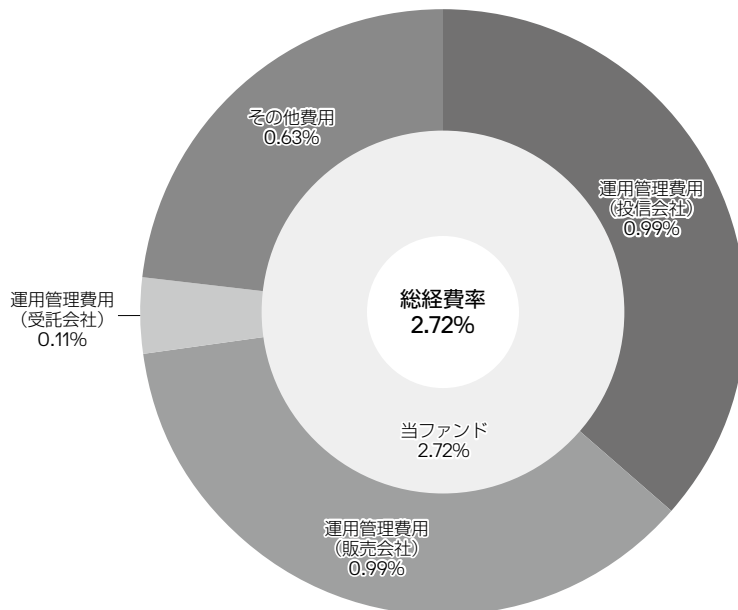
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

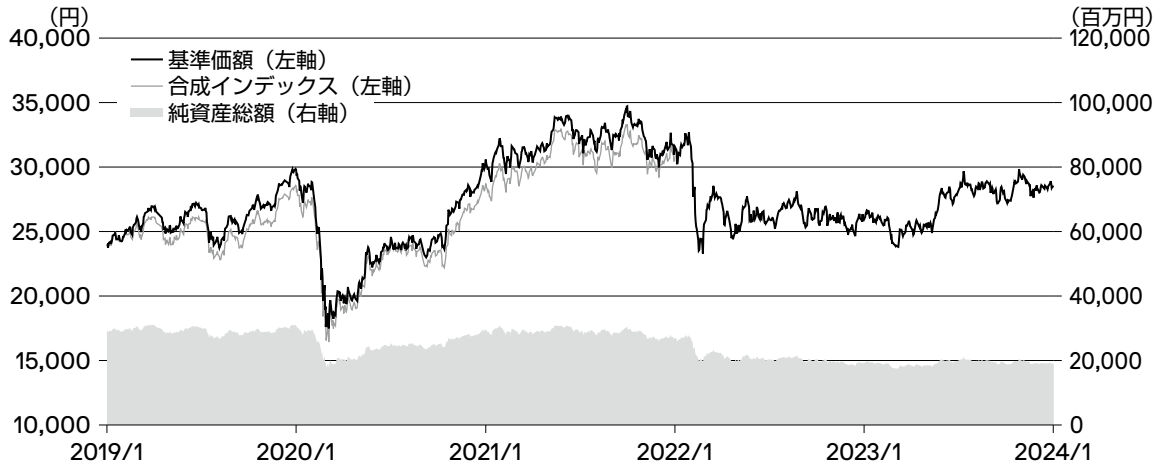
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月22日～2024年1月22日)



(注) 合成インデックスはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 合成インデックスは、MSCIブラジル・インデックス (税引後配当込み、円ベース)、MSCIロシア・インデックス (税引後配当込み、円ベース)、MSCIインドア・インデックス (税引後配当込み、円ベース)、MSCI南アフリカ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) に各20%投資したとみなして、委託会社で独自に計算して作成した指数です。円ベースの各指数は、米ドルベースの各指数を委託会社にて円ベースに換算したものです。以下「BRICS5力国合成指数 (円ベース)」とすることがあります。MSCIの各指数は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております (以下同じ)。

(注) 合成インデックスは、当ファンドの投資対象株式市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません (以下同じ)。2022年1月21日から合成インデックスの記載を行いません。詳細は<お知らせ>をご参照ください。

	2019年1月21日 決算日	2020年1月20日 決算日	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日	2024年1月22日 決算日
基準価額 (円)	24,025	29,861	30,308	31,262	25,860	28,520
期間分配金合計 (税込) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	24.3	1.5	3.1	△17.3	10.3
合成インデックス騰落率 (%)	—	18.9	△0.3	8.1	—	—
純資産総額 (百万円)	29,118	31,014	29,500	26,816	19,171	19,016

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

[投資環境]

○株式市場

BRICS5カ国を含む新興国株式市場の代表的な指標であるMSCIエマージング・マーケット・インデックスは前期末比で下落しました。

◆期首から3月中旬にかけて、米国雇用統計など底堅い経済指標を受けてFRB (米連邦準備制度理事会) による利上げ継続への懸念や米中間の緊張が高まったこと、米国のシリコンバレー銀行破綻などによって金融システムへの不安が高まり下落しましたが、7月下旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したこと、米国の経済指標が堅調だったことや、中国で不動産セクターへの支援策が期待されたことなどを受けて上昇しました。

- ◆10月下旬にかけては、米国を中心に政策金利高止まりの懸念が広まり金利が上昇する中で、中国の経済減速への警戒感が強まったことや原油高が嫌気されたことなどから、下落しました。その後期末にかけてはブラジルやラテンアメリカ諸国における利下げの実施、インドの堅調な経済指標などが支援材料となり上昇しました。

*各市場の動向は、MSCIの各指数（Price Index：現地通貨ベース）を使用しています。MSCIの各指数は、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○為替市況

全ての投資通貨が対円で上昇しました。

[運用経過]

1) 基準価額の推移

○当ファンド：基準価額の騰落率は+10.3%となりました。

○組入ファンド：マザーファンドの基準価額の騰落率は+12.5%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、BRICS株式市場が軟調に推移したことなどはマイナス要因となったものの、全ての投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

3) ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

当期はブラジル、インドの組入比率が上昇した一方で、南アフリカ、中国の組入比率は低下しました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマーク・参考ベンチマークがないため該当事項はありません。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、無分配としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項目	第 18 期
	2023年1月21日～2024年1月22日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	22,570

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は四捨五入です。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆グローバル経済は米国を中心に底堅さを示している一方で、インフレ率は低下傾向にあるものの、世界の中央銀行には引き続き慎重な政策運営が求められる水準にあると考えます。一方で、多くの新興国の中央銀行は先進国に先んじて利上げを実施し、インフレ抑制に努めてきたことで、政策金利の据え置き又は利下げ実施余地が生じていることは、新興国株式にとって支援材料になると見ています。
- ◆中国経済は数年に亘る調整の段階にあり、特に不動産と製造業の低迷が経済活動全体の重石となっています。一方で、株価収益率は過去最低水準に近いことなどが今後の株価の支援材料となる可能性があると考えています。また、中国政府が打ち出す政策は不安定な側面もあるものの、政府が経済成長とビジネス環境の支援に以前より注力している中、一連の景気刺激策が2024年に累積的に効果をもたらすことが期待されます。しかし、政府は持続可能な成長と不動産セクターのリスク管理に焦点を当てる中、大規模な財政出動による広範な景気回復はあまり期待できないと考えます。
- ◆中国を除くその他の新興国の見通しについては、インドは政府による投資促進に向けた政策支援が支援材料となっており、今後もこの傾向は続く予想しています。加えて、ラテンアメリカ諸国においては政治動向が同地域のリスク材料となる可能性はありますが、魅力的なバリュエーション（株価収益率等）や利下げの実施などが追い風になると見ています。

※ご留意事項

ロシアに関する市場の急激な変化による時価変動の影響を鑑み、当ファンドの主要投資対象である、マザーファンドにおける運用を継続するための一時的な措置として、マザーファンドの運用を行うJPモルガン・アセット・マネジメント（UK）リミテッドでは、ロシアの株式および預託証券の保有比率を売却や評価減により大幅に削減し、マザーファンドにおけるロシアの株式および預託証券の保有比率は0.2%（2024年1月22日現在）となっております。今後のロシアの株式および預託証券の取引の再開や市場の流動性の回復次第では、一時的にマザーファンドにおけるすべてのロシアの株式および預託証券を売却する可能性がございます。また、今後、目論見書において定めている投資対象国であるその他の4か国（ブラジル、インド、中国及び南アフリカ）の保有比率も一時的に基本保有比率（20%を基本に±10%の範囲内）を逸脱する可能性がありますので、ご留意頂きますようお願い申し上げます。ロシアをめぐる状況は非常に流動的であり、引き続き状況を注視しつつ、今後も慎重に対応していく方針です。

◎今後の運用方針

- 当ファンド：マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
- マザーファンド：BRICS5カ国のいずれかで上場または取引されている株式の中から、収益性、成長性等を総合的に勘案して選択した銘柄に主として投資し、信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。

お知らせ

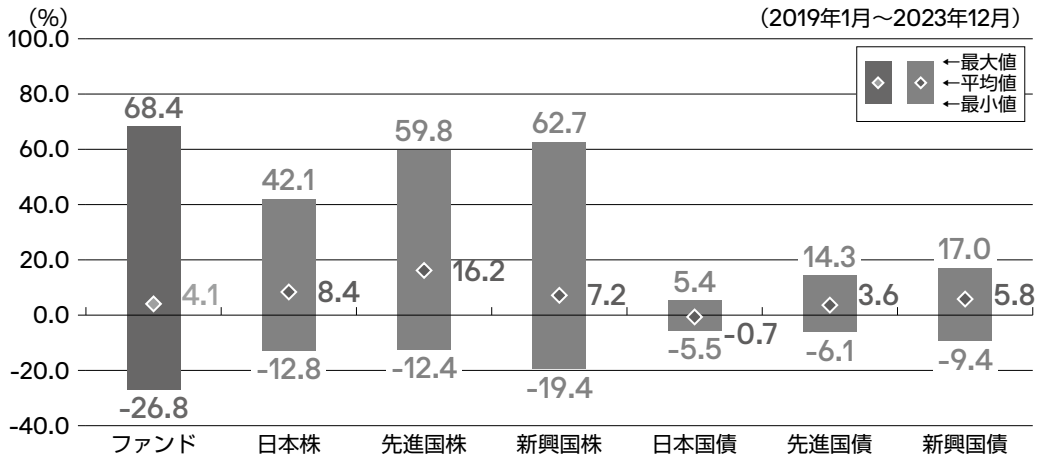
・2022年1月20日決算日までは合成インデックスの騰落率を記載していましたが、2022年2月に発生したロシアのウクライナ侵攻を契機に、ロシア株の売買が困難な状況となっています。このため、当ファンドにおいて2022年3月以降実質的に保有しているロシア株の比率は著しく低下していることや今後の不透明な市場環境等を踏まえ、当ファンドの基準価額に対し合成インデックス（Brics5か国の株価インデックスに各20%投資したとみなして作成した合成インデックス）と比較することについて適切性の確保ができないと判断し、合成インデックスに関する記載を2022年1月21日より行わないこととしています。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドを通じ、主として、BRICS5力国の株式等に投資することによって信託財産の成長を目指します。	
主要投資 (運用) 対象	当ファンド	GIM・BRICS5・マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	BRICS5力国の株式等を主要投資対象とします。投資にあたっては、直接投資に加えて預託証券を用いた投資も行います。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 原則として、為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には、上記に従った運用が行えない場合があります。
	マザーファンド	BRICS5の株式等に実質的に投資します。BRICS5に各20%ずつ投資することを基本とし、±10%の範囲内で各国の配分比率を調整します。BRICS5力国のいずれかで上場または取引されている株式の中から、収益性、成長性等を総合的に勘案して選択した銘柄に主として投資します。BRICS5力国から売上または利益の大半を得ていると判断されるBRICS5力国以外の取引所等で取引されている企業の株式にも投資します。株式への投資にあたっては、直接投資および預託証券*を用いた投資を行います。 <small>*「預託証券」とは、ある国の企業の株式を国内の別市場または国外で流通させるために、その株式を銀行等に預託し、預託を受けた銀行等が株式の代替として発行する証券のことをいいます。預託証券は、主に先進国の有価証券が取引される市場で取引されます。</small> 運用プロセスは①投資対象国の信用力を分析②個別銘柄の分析③ファンドの構築です。 為替ヘッジは行いません。株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には、上記に従った運用が行えない場合があります。
分配方針	毎年1回（原則として1月20日）決算日に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。)
- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社に円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ（2024年1月22日）

◎組入資産の内容

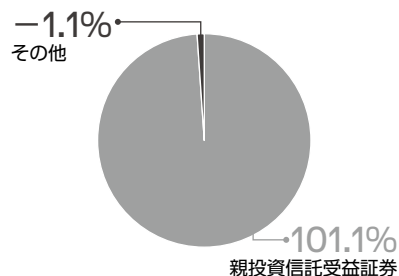
○組入ファンド等

BRICS5・マザーファンド	101.1	%
その他	△1.1	
組入銘柄数	1銘柄	

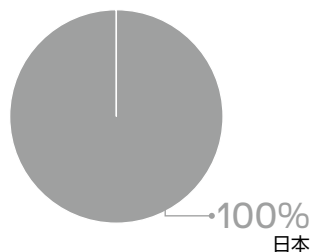
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

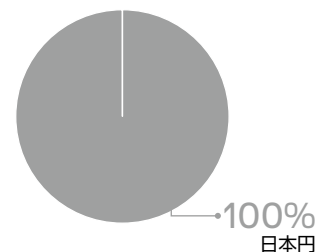
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

項 目	当期末
	2024年1月22日
純 資 産 総 額	19,016,311,915円
受 益 権 総 口 数	6,667,733,164口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	28,520円

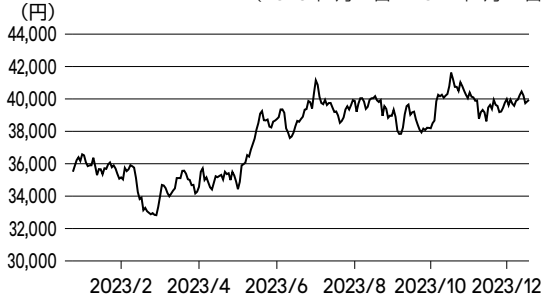
(注) 当期中における追加設定元本額は49,433,108円、同解約元本額は795,243,689円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆BRICS5・マザーファンド（2024年1月22日）

○基準価額の推移

（2023年1月21日～2024年1月22日）



○1万口当たりの費用明細

（2023年1月21日～2024年1月22日）

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	9 (9)	0.024 (0.024)
(b) 有価証券取引税 (株式)	14 (14)	0.038 (0.038)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	232 (63) (170)	0.617 (0.166) (0.451)
合計	255	0.679

期中の平均基準価額は、37,631円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

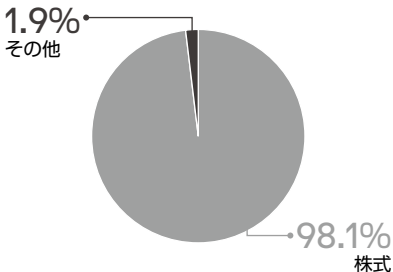
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
ITAUSA SA	銀行	ブラジルレアル	ブラジル	5.3%
INFOSYS LIMITED	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	5.2
PETROLEO BRASILEIRO SA-PETROBRAS-PR	エネルギー	ブラジルレアル	ブラジル	4.6
BID CORP LTD	生活必需品流通・小売り	南アフリカランド	南アフリカ	3.7
FIRSTSTRAND LTD	金融サービス	南アフリカランド	南アフリカ	3.4
TENCENT HOLDINGS LIMITED	メディア・娯楽	香港ドル	香港	3.4
RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	3.3
CLICKS GROUP LTD	生活必需品流通・小売り	南アフリカランド	南アフリカ	3.1
MERCADOLIBRE INC	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	2.9
ICICI BANK LIMITED	銀行	インドルピー	インド	2.9
組入銘柄数		86銘柄		

(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

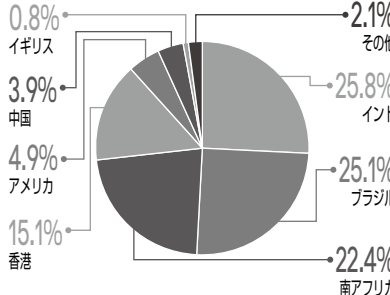
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

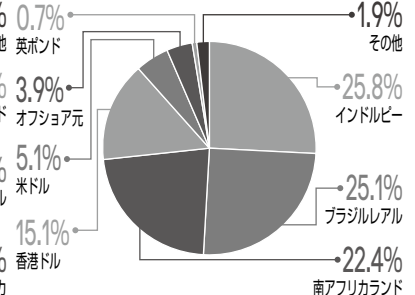
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別および通貨別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)を含みます。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

